



氏名 楠瀬 貴大
所属 経済学部 経済学科
学年 1年

留学先 EF 語学学校
オーストラリア・パース校
留学期間 2026/2/22~2026/3/14

留学レポート Study Abroad Report

【はじめに】

私は今回の短期留学プログラムで初めて海外に行ったため、空港での手続きやホームステイも含め、あらゆることが自分にとって初体験の感想となる点を踏まえて読んで頂きたいです。また、先にこの短期留学プログラムでの満足度について話しておく、日本では味わうことのない強烈なインパクトと数多くの貴重な経験を得て、留学前には想像もしていなかった程満足しています。海外未経験の人こそ是非参考にしてください。

【ホームステイ先での生活】

オーストラリアでの生活は、まず空港に到着後ホームステイに行くところから始まります。ここで本格的に英語オンリー生活が始まります。私のホームステイ先は、ホストマザーと息子さんの二人が暮らしていて、ルームメイトは日本人一人とフランス人二人の計三人が滞在していました。到着後すぐに家のルールを何点か説明されるのですが、初日は何を言っているのかほとんど聞き取れず、ジェスチャーだけで何とか理解に努めました。この頃は本当に三週間英語生活ができるのかという不安しかなかったのですが、ルームメイトは私が言葉に詰まっても「焦らなくていいよ」と優しい声をかけてくれるし、わからないことがあっても易しい英語で丁寧説明してくれたので、日に日にスピーキング力とリスニング力は向上していった気がします。個人的には、ルームメイトは毎日生活を共にする仲間なので、授業以上に英会話の向上に寄与すると感じます。

生活スタイルについては、日本では全く意識しないようなことにいくつか注意する必要があります。特に気を付けてほしいこととして、水の使用については私のホームステイ先だけでなく、周りの友人のホームステイ先も含め、ほとんどの家で使用制限があります。私の場合は「シャワーの使用時間は五分まで」「洗濯機の使用は週に一度だけ」といった制限がありました。また飲み水の確保についてですが、水道水は日本のようにおいしくないため、必ずスーパーで買うことを勧めます。安いところだと 1.5L を 0.8\$ で購入できるので、ケチらず買うほうがいいです。他にも各家庭ごとに細かな決まりがあると思いますが、多少面倒なことや嫌なことでも「異文化の経験」と割り切って生活しましょう。

【授業】

私が現地に通っていた学校は普通の大学ではなく「EF 語学学校」という英語学習専門学校であり、渡航前に受けるプレイスメントテストというテストにより決められたレベル別のクラスで授業が行われます。授業形式としては、毎週一つの単元、カテゴリーに関する新出単語や文法の使い方について学習し、クラ

スマートと対話で実際に使いながら習得していく流れです。前述したものは毎日 2 コマ受講する必要がある「通常授業」になるのですが、それに加えて「SPIN クラス」と呼ばれる、毎日 1 コマ、自分で興味のあるカテゴリーを選らんで受講することが出来る授業があります。英文法やオーストラリア英語といった英語の知識を増やす授業もあれば、career development や debate といった、英語を用いてワンランク上のことについて学ぶこともできます。おそらくオーストラリアの滞在中で最も本格的に英語を学び、使うことが出来る時間になるはずです。クラスのレベルは同じでも、クラスメートのほとんどは我々日本人よりもはるかにスピーキング力、リスニング力のある人たちばかりなので、最初はそれに圧倒され、話すことを躊躇したくもなりますが、恥を恐れず積極的に話しかけましょう。相手は自分の発音や分布ミスなどまったく気にしていませんし、頑張っ話してみれば案外言いたいことは相手に伝わるものです。教室に入ったら先生や生徒に挨拶など、小さなことから英語を話す機会を増やして、有意義な時間にするをおすすめします。

【放課後アクティビティや休日過ごし方】

EF 語学学校では毎日放課後にアクティビティがあります。無料のものだと、近くのビーチに行き、マーケットで買い物やビーチバレーをしたり、パース市内のランニング、ナイトバーなどがあり、有料だとイルカと海を泳いだり、サーフィン、バリ島旅行など、非常に種類が豊富でした。このアクティビティでは普段の授業では関わることない生徒と触れあえる貴重な機会であり、アクティビティ自体に興味が無くても是非参加してほしいです。

土日は完全な休みなので、観光したり家でくつろいだりできます。今回は三週間と言うわずかな時間しかなかったので、全て休日を観光に費やしました。ビーチやマーケット観光、動物園、砂漠、オーストラリアでしか参られないクウォッカと呼ばれるかわいい小動物が見られるロットネスアイランドという島でサイクリングなど、どこに行っても日本では見られない風景を楽しむことができます。ただ一つ注意点として、個人差はありますがどこに行くにしても移動に 1～2 時間はかかり、また土日は終電、終バスが早いので、朝早くに出発しないと十分観光の時間が確保できない可能性があります。

【最後に】

最初こそは「英語でやりとりできるか」「ホームステイが自分に合うか」などといったネガティブなことばかり考えていましたが、話してみると案外コミュニケーションは問題なく取れますし、ホームステイ先も一週間も経てば、日本の家とまでは流石に言えないですが、かなり居心地のいい場所になります。私にとって今回が初めての海外経験だったので、もちろん英語を話したことや海外の文化に触れられたことは私に大きなインパクトを与えましたが、実はそれと同じぐらいに、現地で出会った日本人にも強い刺激を受けました。まず現地で新しく出会う人の中には自分より年上の方もかなりの人数がいて、日本で普段なかなか出会わないような経歴を持った方が多くいました。私のルームメイトの日本人は、大学卒業前に四週間 EF 語学学校に通っていたのですが、彼は英語を学ぶためだけに来たため、休み時間も日本人とは一切かわらないと決め、夜は毎日リビングで勉強し、授業が午後始まりの日には早朝から図書館に行くなど、非常に勉強熱心な方でした。私は半分観光、半分英語ぐらいの気持ちで参加したのですが、彼の語学力向上に対する執着はとても印象に残りました。海外留学では現地の人との交流や異文化体験が一番の思い出になると思いますが、日本人でも普段関わることがないような方と交流することが出来ます。私が参加した三週間と言う期間は確かに短いですが、ネットで調べると「短期留学は意味ない」といった意見も良く見られますが、そんなことにはおそくならないでしょう。